



ワークショップ「音を、書く」を開催しました（内川）

「音を、書く」というワークショップを2月18日と、5月6日に寄居駅南口駅前拠点施設Yottecoにて開催しました。このワークショップはハガキサイズの小川和紙にキラキラした墨に筆などを使用して、オノマトペを書くというものです。裏面にも企画について自身の作品にふれ詳細を書いていますので、ぜひ読んでみてください！

ありがたいことに反響が大きく、企画そのものの評価だけでなく当日の講師・スタッフの対応が手厚いとのこともお声もいただき、運営一同うれしく思っております。今後も楽しめる企画を作っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

よりいの小さなパンマルシェを
開催しました（松本）

5月26日、寄居駅南口駅前拠点施設 Yottecoにて、第2回“よりいの小さなパンマルシェ”を開催しました。

今回は7店の個性豊かなパン屋さんにご出店いただき、それぞれが自慢のパンを持ち寄ってくださいました。

約350人の方々がご来場くださり、にぎやかな雰囲気の中、前回は上回る1400個が販売されました。

音楽のライブ・パフォーマンスともコラボで開催させていただき、Yotteco前の広場で来場者を楽しませてくれました。

スペースが十分ではなく、ご不便もあったかと思いますが、たくさんの笑顔が生まれ、企画した甲斐を感じました。

次回の企画もすでに検討中です。お楽しみに！



【協力隊のご紹介】

\\ フォローしてね //

顔写真横の二次元コードから、それぞれのSNS等がチェックできます！
寄居駅南口駅前拠点施設 Yottecoを拠点に活動中です。



内川 雄生 (うちかわ ゆうき)

ミッション

魅力向上・集客促進



松本 哲明(まつもと てつあき)

ミッション

空き家・空き店舗活用促進
移住支援／創業支援

地域おこし協力隊とは

地域での生活や地域貢献に意欲のある人材が都市部から移住し、

地域おこし支援などを行う仕組み。

〔協力隊の特性を活用×地域に新しい風×行政ではできない柔軟な活動〕
の三方よしの取り組みです。

編集後記

協力隊新聞第3号を発行させていただきました。相変わらず、スローペースで進んでいますが、少しずつ流れも掴めてきています。

協力隊としての活動も2年目に入りましたが、引き続き地域の活性化につながる施策を打ち出していきたいと考えています。引き続きよろしくお願いします！

協力隊公式インスタ



yorimachi_kyouryokutai



图 7-10



空き家・空き店舗Re活用!! プロジェクトのチラシ画像

空き家・空き店舗 Re活用!!プロジェクト

文：松本 哲明（空き家利活用促進、移住支援、創業支援）

このプロジェクトは「空き家・空き店舗の利活用促進」と「移住支援」を掛け合わせた活動です。

寄居町は空き家率が県内でも高い水準となっており、この値は更に上昇していくことが予想されています。この課題に取り組むことを通じて、地域の活力や持続可能性を高めることに繋げていこう、という活動です。

具体的な活動内容としては、物件の活用法と一緒に考え、移住等を希望する方々とマッチングをするものです。

●住むなどの予定は無いが、売却等の予定も無い。

●管理するにも、いつまでできるかわからない。

などの物件を、所有者様に代わって活用しながら、同時に日常的な管理についてもお任せしよう、というケースが中心になります。置かれた状況やストーリーは1件1件で異なります。そういったものを大切に、個別対応しています。

これまでの活動で気付かされることがあります。

それは、所有者様と、移住や活用を希望している方とは、思いのほか、観点が違っていることです。まるで、デジタルカメラしか知らない世代が、フィルムカメラに惹かれるかのように、所有者様には価値を感じられない残置物や建物が、移住者には魅力的に映る。そのような観点の違いが利活用の可能性を妨げているようです。

こういった行き違いも含めて、寄居町内で暮らしており、移住者でもある松本が丁寧にサポートいたします！

寄居駅南口駅前拠点施設 Yotteco等で、チラシを配布しています。一度お手に取っていただけたら嬉しいです！！

ワークショップ 企画秘話

文：内川 雄生（魅力向上、集客促進）

地域おこし協力隊で書道家の内川です。ここでは、ワークショップについてのお話を少しだけさせていただきます。

「音を、書く」は作品制作における引き出しの出し入れを自然に体験していただくために企画しました。書の業界だけではないのだと思いますが、上手い下手が先行するあまり習い事を楽しめずにやめてしまうケースはよく聞く話です。ワークショップというものは初心者の方や苦手意識の強い方も当然参加される可能性があります。だからこそ技術的な面から一度視点をずらす必要があるのです。技術的なものを求める場合は続けてさえいればいずれ身につきますからね。

そのため「音を、書く」では「楽しめる」ことを第一に、筆や墨を書道具以外のものも用意し、初心者の方でも作品が作品として成立しやすいように工夫しています。今後も開催してまいりますので、お立ち寄りいただけたら嬉しいです。

余談

「『構築書』と企画立案」

実は、ワークショップの企画の仕方には自身の作風である『構築書』と密接な関係があるのです。えっ、どこが！？となる方もいらっしゃるかもしれませんが、そもそも『構築書』とは多くの芸術的要素を複合的に一つの作品に集約できるように制作した作風です。これを再度分解します。そして体験していただくのに分かりやすく、作業がしやすい要素をピックアップすることで企画が成り立っていくのです。

●構築書「接続輪廻」（※全て文字で構成されています）

